

パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2014年2月1日

125号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



一年で最も暑い季節、川で水浴びをするレダの馬たち。馬の背でウシタイランチョウが皮膚の虫を取ってくれる。



元気さをアピールする、ナンベイヒメウの求愛

日本人が南米の僻地に開拓を進めた際に、地域社会や国家に貢献して喜ばれていることや、環境保護のため、植樹や養殖に取り組んでいることに感動し、人々の感謝の声をきつちり取材して、元旦号に4頁にわたって特集を組み、報道していた。その中で、豚が泳いでいる姿にもびっくり、写真付きで紹介していた。

(飯野記)

泳ぎの名手といえば、昨年12月に孵化したパクーの稚魚も、養殖池で10万匹を超える数が元気に泳ぎ回っている。レダでは、この3月にも再度パク稚魚の放流式典を成して、乱獲で激減したバラグアイ川の魚の環境自然保護を促進できるよう計画している。

昨年、チヤコ地方で初めての稚魚放流式典が行われ、大統領御一行が参加したが、今年のゲストとして、どなたを招くか検討中である。

また、去る十二月に世界日報（日本の日刊紙）記者が取材に来園、数日滞在した。日本が南米の僻地に開拓を進めた際に、地域社会や国家に貢献して喜ばれていることや、環境保護のため、植樹や養殖に取り組んでいることに感動し、人々の感謝の声をきつちり取材して、元旦号に4頁にわたって特集を組み、報道していた。その中で、豚が泳いでいる姿にもびっくり、写真付きで紹介していた。

生命の讃歌、パンタナールの真夏

新しいスクレーパーが到着

一月十日、スクレーパー

(土などを掘る機械)

がようやく到着しました。

これは七立方メートルの土が入るもので

最も大きなものです。

十一月上旬に中田所長

とロマ・プラタに行つ

て注文したのですが、

レダ基地では…

ようやく到着しました。

大きなトラックに載せて

配しました。しかし、途中一日足止めをくつたものの、そ

の翌日到着しました。これで今後、養殖池の造成がどんどん進むでしょう。

(この頁、佐野記)

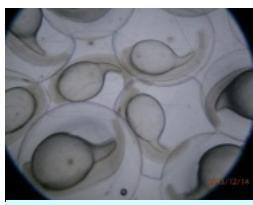


新しいスクレーパーで作業力アップ



優れた親魚から卵を採取する

パクーの大量人工孵化に再び成功！



今シーズンもパクーの人工孵化に成功しました。生まれた仔魚を直ちに正確に計数することはできましたが、マグノ教授によれば、受精率は約八十%ですから、五百グラムは受精したと推定できます。その中で

孵化に成功しました。生まれた仔魚を直ちに正確に計数することはできませんでしたが、マグノ教授によれば、受精率は約八十%ですから、五百グラムは受精したと推定できます。その中で

受精卵が孵化し、稚魚として成長し、さらに成魚となるかで、総合的な結果が表れます。

アストロノトウスを研究

パンタナールに、アストロノトウスという魚がいます。日本ではオスカ―という名で知られています。鯛の味にも似て、中田所長も非常に美味しいと言っています。マグノ氏も、これは

テイラピアの仲間

で、今後パラグアイでの養殖の目玉

にしていきたいと、

私たちと共に、意

気投合した魚です。

アストロノトウス (オスカ―)
Astronotus ocellatus スズキ目カワスズメ科



上：アサド（焼肉）、下：乾杯



真夏のメリーカリスマス

先号でお伝えできなかつた、レダ基地のクリスマスです。現地従業員の全員に、すてきなプレゼントが贈られました。

栄養豊富なタロイモの収穫

レダ農場の水耕栽培で丹精込めて育て、収穫したタロイモです。



フィッシュパウダー（魚粉）作り

マグノ氏が来たときに、川で小魚を取り、日干しにして魚粉を作りました。



上：小魚獲り 下：処理された小魚



雨季のチャコ地方、悪戦苦闘

この季節は、大雨続きで大変です。私は（佐野）も雨の合間に潜り抜けながら、アシンシオンからレダに帰つてきましたが、道路の泥濘に埋まつて、バスを含む何台もの車が動けなくなつていました。

来日中のレダ・スタッフに質問しました。

①レダでの担当業務、②レダで苦心したこと、③日本滞在中にしたいこと、④日本の皆様へひと言

★上山貞和氏

養殖

では、一三三〇匹の親魚と二五〇〇匹のパクーの世話、またパラグアイで最も綺麗なプールとしての清掃と維持、現地労働者の管理などが主要な担当業務です。

親魚をいかに育てるかが苦心のしどころですが。既製の飼料だけでなく、木の葉、ヤシの実、タニシなど、可能な限りの餌を与えました。川で釣ったパクーの胃にヤシの実が詰まつており、現地の人々もヤシの実で釣っていました。そこでヤシの実が熟す時期は毎日ボートで実を探りに行ってパクーに与えました。

日本では、稚魚放流の時に付ける標識を探したり、大学や水産試験場を訪問したいと考えています。

また、サトイモの水

田栽培をしていく農

家の見学や、養豚技

術の向上のため、優

れた豚肉の産出法、

料理法なども研究し

ます。ウェブや図

書館などでの調査、

上野公園や日立市

の林木育種センター

などに行つて樹木

の観察学習をして

います。そして、

色々な知人に会つ

たり、集会に参加

してレダの活動紹

介を行っています。

日本では、稚魚放

流の時に付ける標識

を探したり、大学や

水産試験場を訪問し

たいと考えています。

また、サトイモの水

田栽培をしていく農

家の見学や、養豚技

術の向上のため、優

れた豚肉の産出法、

料理法なども研究し

ます。ウェブや図

書館などでの調査、

上野公園や日立市

の林木育種センター

などに行つて樹木

の観察学習をして

います。そして、

色々な知人に会つ

たり、集会に参加

してレダの活動紹

介を行っています。

日本では、稚魚放

流の時に付ける標識

を探したり、大学や

水産試験場を訪問し

たいと考えています。

また、サトイモの水

田栽培をしていく農

家の見学や、養豚技

術の向上のため、優

れた豚肉の産出法、

料理法なども研究し

ます。ウェブや図

書館などでの調査、

上野公園や日立市

の林木育種センター

などに行つて樹木

の観察学習をして

います。そして、

色々な知人に会つ

たり、集会に参加

してレダの活動紹

介を行っています。

日本では、稚魚放

流の時に付ける標識

を探したり、大学や

水産試験場を訪問し

たいと考えています。

また、サトイモの水

田栽培をしていく農

家の見学や、養豚技

術の向上のため、優

れた豚肉の産出法、

料理法なども研究し

ます。ウェブや図

書館などでの調査、

上野公園や日立市

の林木育種センター

などに行つて樹木

の観察学習をして

います。そして、

色々な知人に会つ

たり、集会に参加

してレダの活動紹

介を行っています。

日本では、稚魚放

流の時に付ける標識

を探したり、大学や

水産試験場を訪問し

たいと考えています。

また、サトイモの水

田栽培をしていく農

家の見学や、養豚技

術の向上のため、優

れた豚肉の産出法、

料理法なども研究し

ます。ウェブや図

書館などでの調査、

上野公園や日立市

の林木育種センター

などに行つて樹木

の観察学習をして

います。そして、

色々な知人に会つ

たり、集会に参加

してレダの活動紹

介を行っています。

日本では、稚魚放

流の時に付ける標識

を探したり、大学や

水産試験場を訪問し

たいと考えています。

また、サトイモの水

田栽培をしていく農

家の見学や、養豚技

術の向上のため、優

れた豚肉の産出法、

料理法なども研究し

ます。ウェブや図

書館などでの調査、

上野公園や日立市

の林木育種センター

などに行つて樹木

の観察学習をして

います。そして、

色々な知人に会つ

たり、集会に参加

してレダの活動紹

介を行っています。

日本では、稚魚放

流の時に付ける標識

を探したり、大学や

水産試験場を訪問し

たいと考えています。

また、サトイモの水

田栽培をしていく農

家の見学や、養豚技

術の向上のため、優

れた豚肉の産出法、

料理法なども研究し

ます。ウェブや図

書館などでの調査、

上野公園や日立市

の林木育種センター

などに行つて樹木

の観察学習をして

います。そして、

色々な知人に会つ

たり、集会に参加

してレダの活動紹

介を行っています。

日本では、稚魚放

流の時に付ける標識

を探したり、大学や

水産試験場を訪問し

たいと考えています。

また、サトイモの水

田栽培をしていく農

家の見学や、養豚技

術の向上のため、優

れた豚肉の産出法、

料理法なども研究し

ます。ウェブや図

書館などでの調査、

上野公園や日立市

の林木育種センター

などに行つて樹木

の観察学習をして

います。そして、

色々な知人に会つ

たり、集会に参加

してレダの活動紹

介を行っています。

日本では、稚魚放

流の時に付ける標識

を探したり、大学や

水産試験場を訪問し

たいと考えています。

また、サトイモの水

田栽培をしていく農

家の見学や、養豚技

術の向上のため、優

れた豚肉の産出法、

料理法なども研究し

ます。ウェブや図

書館などでの調査、

上野公園や日立市

の林木育種センター

などに行つて樹木

の観察学習をして

います。そして、

色々な知人に会つ

たり、集会に参加

してレダの活動紹

介を行っています。

日本では、稚魚放

流の時に付ける標識

を探したり、大学や

水産試験場を訪問し

たいと考えています。

また、サトイモの水

田栽培をしていく農

家の見学や、養豚技

術の向上のため、優

れた豚肉の産出法、

料理法なども研究し

ます。ウェブや図

書館などでの調査、

上野公園や日立市

の林木育種センター

などに行つて樹木

の観察学習をして

います。そして、

色々な知人に会つ

たり、集会に参加

してレダの活動紹

介を行っています。

日本では、稚魚放

流の時に付ける標識

を探したり、大学や

水産試験場を訪問し

たいと考えています。

また、サトイモの水

田栽培をしていく農

家の見学や、養豚技

術の向上のため、優

れた豚肉の産出法、

料理法なども研究し

ます。ウェブや図

書館などでの調査、

上野公園や日立市

の林木育種センター

などに行つて樹木

の観察学習をして

います。そして、

色々な知人に会つ

たり、集会に参加

してレダの活動紹

介を行っています。

日本では、稚魚放

流の時に付ける標識

を探したり、大学や

水産試験場を訪問し

たいと考えています。

また、サトイモの水

田栽培をしていく農

家の見学や、養豚技

術の向上のため、優

れた豚肉の産出法、

料理法なども研究し

ます。ウェブや図

書館などでの調査、

上野公園や日立市

の林木育種センター

などに行つて樹木

の観察学習をして

います。そして、

色々な知人に会つ

たり、集会に参加

してレダの活動紹

介を行っています。

日本では、稚魚放

流の時に付ける標識

<

パンタナル研修会の御案内 (一日特別研修会)

厳しい冬が過ぎ、春の陽光が差し込むころ、下記の内容のパンタナール研修会を開催いたします。

南米パンタナールのレダ開発は15年目を迎えました。多くの支援をいただき植樹、青年ボランティア隊派遣、

先住民の村に学校建設、更にレダにおける養殖などを通し、国からも高く評価を受けました。

先回の大河パラグアイ川でのパター稚魚放流式典では、大統領御一行を迎えた。それは環境保護の道を開き式典も成功裏に行われ、多くの人々に感動と希望を与えた。正に当会の創設者、文鮮明先生の「他のために生きる精神」の実践であり、生きた証しです。

皆様、今回の一日研修会を通して「ボランティア精神」や「地球環境問題」を見つめ直してみませんか。

きっと皆様にとって喜びの出発の日となるでしょう。皆様の積極的なご参加を心からお待ちしております。

開催日 2014年3月2日（日）

プログラム

- | | | | |
|-------|-------------|-------------------|--------|
| 10:00 | 受付開始（2階ホール） | | |
| 10:30 | 開会 | ビデオ上映 | |
| | 講義 | ① 「創設者の思想とレダの歩み」 | 飯野貞夫先生 |
| 12:00 | 昼食 | | |
| 13:00 | 講義 | ② 「ここまで進んだ地球環境問題」 | 高津啓洋先生 |
| 14:30 | 休憩 | | |
| 15:00 | 講義 | ③ 「奉仕活動が国を動かす」 | 柴沼邦彦先生 |
| 16:30 | 質疑応答 | 17:00 | 閉会 |



大統領を迎えパク一稚魚放流式



レダ基地にやって来たベニヘラサギ（ペリカン目トキ科）



シロガオリュウキュウガモ（カモ目リュウキュウガモ科）

南北米福地開発協会事務局

2.1.3-0.0.0.1

神奈川県川崎市高津区

溝口 3-11-15
岩崎ビル4F

電話 044-829-2821

FAX 044-829-2820

会費納入 郵便口座

1 0 1 8 0 = 7 7 6 8 0 4 7 1

E-メール : office@asd-nsa.jp

本ページ : <http://www.asd-nsa.jp>

南米、パラグアイ・パンタナール地域へのエコツアーならびに植林活動を通じて生態系の維持と強化を促進し、その地域をモデルとして、世界に環境保護の大切さを訴えています。

会費は月五〇〇円です。毎月、パンタナール通信をお送りします。

また、各種のセミナー、エコツアー等への案内をいたします。

南北米福地開発協会
会員募集中

地球家族として 自然を守りましょう